

# 12月の掲示板より

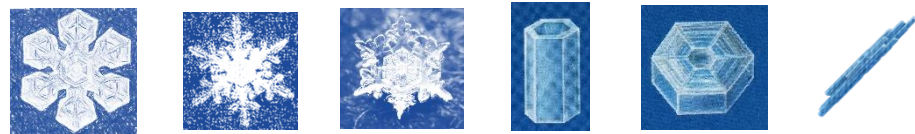
## 「雪は天から送られた手紙」

## 「雪の写真家ベントレー」

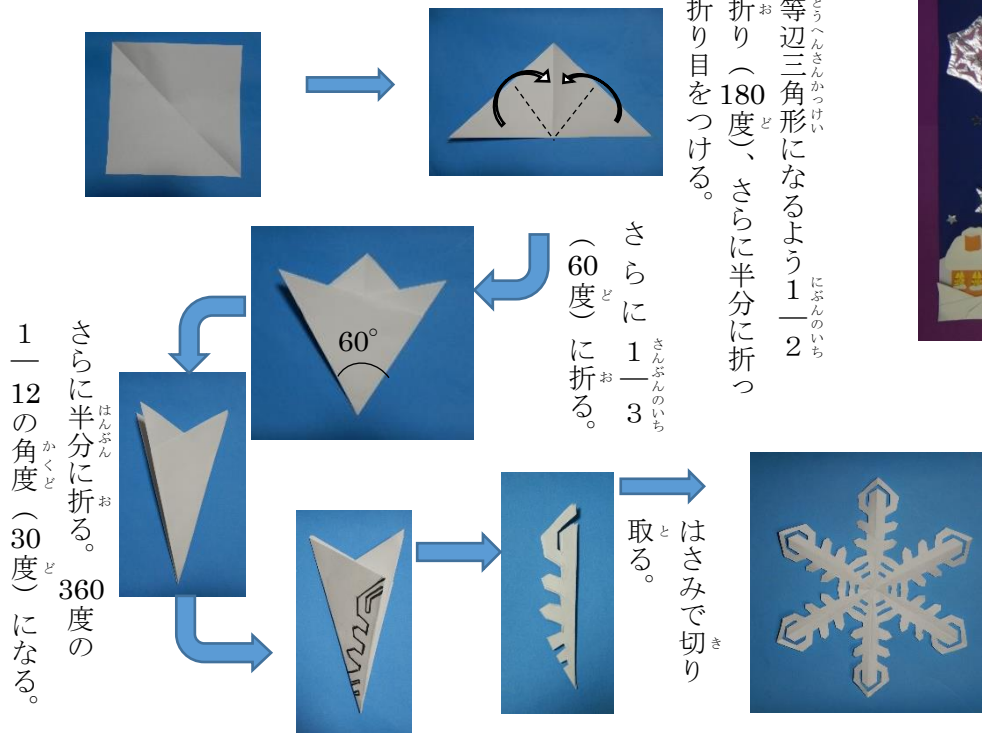
### 「雪は天から送られた手紙」

これは、日本の物理学者、中谷宇吉郎（1900～1962）の言葉です。雪の結晶は六角形の基本形からできていますが、人工的に雪をつくる実験によって、同じ形はないものの、温度と湿度によって似た傾向の形になることがわかったそうです。つまり、雪の結晶の形を見ることで、数千メートル上空の温度と湿度を知ることができます。中谷氏は研究成果から、「雪は天から送られた手紙である※」という言葉を残しました。中谷氏は物理学者ですが、実験を通してわかったことを、詩人のようなすてきな言葉で表現しています。

※「雪は天からの手紙—中谷宇吉郎エッセイ集」（岩波少年文庫） - 2002/6/18  
中谷 宇吉郎（著、イラスト）、池内 了（編集）



### 【雪の結晶の形をつくってみよう】



### 「雪の写真家 ベントレー」



◆雪の結晶にまつわる絵本紹介  
B.L出版1999年 作「ジャック・リオン・ブリッグス・マーティン」  
絵「メアリー・アゼアリアン」  
訳「千葉茂樹」

### 【12月の掲示板装飾】

（中央玄関の掲示板にあります）

「水は実にさまざまな表情をもっているが、雲の中で生まれ、尽きることなく舞い落ちる6本の枝の結晶ほど、美しく変化に富んだものが、ほかにあるのだろうか」アメリカ合衆国の雪のアマチュア研究者、雪の結晶の写真家として知られ、中谷宇吉郎に大きな影響を与えた、ウィルソン・アルウィン・ベントレーの言葉です。